

アジレントウェビナー

ターゲットエンリッチメント法を用いた ロングリードシーケンシング解析



ライブウェビナー開催のご案内

ターゲットエンリッチメント法はターゲット領域に相補的なプローブを使用したハイブリダイゼーションキャプチャーによりターゲットを濃縮する技術であり、高深度シーケンシングや次世代シーケンシングのコスト削減に有用です。ターゲットエンリッチメント法は、エクソーム解析、がんゲノムプロファイリング検査などのショートリードシーケンシングのアプリケーションでよく使用されてきました。一方、ロングリードシーケンシングはショートリードシーケンシングでは解析が難しい配列を解析するための強力なテクノロジーとなっており、多くの新しい発見につながっています。

本ウェビナーでは、東京大学の関真秀先生にターゲットエンリッチメント法のロングリードシーケンシングやシングルセルシーケンシングへの応用などについてご講演いただきます。詳細につきましては、参加登録ページをご確認ください。

演者 関 真秀 先生

東京大学大学院新領域創成科学研究科
生命データサイエンスセンター・メディカル情報生命専攻

演題 「ターゲットエンリッチメント法を用いた ロングリードシーケンス解析手法の開発」

講演要旨

ロングリードシーケンス技術により、100 kb以上の核酸配列を読み取ることが可能となり、ショートリードシーケンスでは解析が困難だった反復性の高いゲノム領域や mRNA 全長配列の決定が容易となった。また、標的領域の高深度シーケンスやシーケンスコストの削減には、相補的なプローブを使用したハイブリダイゼーションキャプチャーが非常に有用である。我々はターゲットエンリッチメント法のロングリードシーケンスへの技術開発を行ってきた。本ウェビナーでは、我々が開発したターゲットエンリッチメント法を応用したロングリード DNA メチル化解析手法や、全長 cDNA 解析手法について紹介する。

開催概要

| 主催 |
アジレント・テクノロジー（株）

| 共催 |
東洋紡株式会社
Oxford Nanopore Technologies
10x Genomics

| 日程 |
2026年3月13日（金）

| 時間 |
15:00 – 16:00

| 参加費 | 無料

| 申込方法 |
下記のウェビナー参加登録ページから
お申込みください。



セミナー詳細や申込につきましては、ご案内の担当者までお問い合わせください。
なお、競合メーカーの方の参加はお断りいたします。

お問い合わせ先：
アジレント・テクノロジー（株）
カスタムコンタクトセンタ
email_japan@agilent.com